神戸大学大学院国際文化学研究科

令和3年度（2021年度） 博士課程前期課程入学試験　試験問題

専門科目


| 科目名 | ページ |
|---|---|
| 日本学 | 1-2 |
| アジア・太平洋文化論 | 3-4 |
| ヨーロッパ・アメリカ文化論 | 5-6 |
| 文化人類学 | 7-8 |
| 比較文明・比較文化論 | - |
| 国際関係・比較政治論 | 9-10 |
| モダニティ論 | 11-12 |
| 先端社会論 | 13-14 |
| 芸術文化論 | 15-16 |
| 言語コミュニケーション | 17-18 |
| 感性コミュニケーション | 19-20 |
| 情報コミュニケーション | 21-24 |
| 外国語教育システム論 | 25-26 |
| 外国語教育コンテンツ論 | 27-28 |


注意事項

著作権に対する配慮のため問題文を省略している場合があります。

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

**領　域：　地域文化系**

**コース：　日本学**

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験
## 専門科目　試験問題　地域文化系領域日本学コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　日本の文化・社会に関する重要な先行研究をあげ、その成果と課題について説明しなさい。

問題 Ⅱ　以下のキーワードから複数を選択したうえで、それらのキーワードを用いながら、テーマを自由に設定して論じなさい。

移動、ヴァーチャル、管理、儀礼、記録、国境、身体、人種、伝統、動画

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

**領　域：　地域文化系**

**コース：　アジア・太平洋文化論**

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験
## 専門科目　試験問題　地域文化系領域アジア・太平洋文化論コース

（注）問題用紙２枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問１，２の解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題：次の文章を読んで、問１、問２にそれぞれ答えなさい。

（問題文省略）

（出典）フランシス・フクヤマ（会田弘継訳）『政治の衰退（下）――フランス革命から民主主義の未来へ』講談社、2018 年、79-80 頁（一部変更有り）。

問１：この文章の要点をまとめなさい。

問２：この文章で主張されている内容を批判的に考察しなさい。その際に、あなたが知っている歴史的事例を用いて、著者の主張の妥当性を具体的に検討すること。

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

**領　域：　地域文化系**

**コース：　ヨーロッパ・アメリカ文化論**

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験
# 専門科目　試験問題
# 地域文化系領域ヨーロッパ・アメリカ文化論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙１枚，下書き用紙１枚
問題Ｉの解答は，指定された解答用紙に記入すること

問題Ｉ　ある社会が危機に直面した際，その克服をつうじてどのように変容していったかを，ヨーロッパあるいは南北アメリカの具体的な事例や作品を用いて論じなさい。

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

領　域：　異文化コミュニケーション系

コース：　文化人類学

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験
# 専門科目　試験問題　異文化コミュニケーション系領域文化人類学コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　以下の文化人類学における用語（1）～（4）の意味について簡潔に説明しなさい。また、(5)、(6) の文化人類学者については、文化人類学の学史的展開を踏まえつつ、それぞれの研究の特徴について簡潔に説明しなさい。

（1）　農民（peasantry）

（2）　人種（race）

（3）　リミナリティ（liminality）

（4）　世帯（household）

（5）　中根千枝

（6）　ダグラス，M(Mary Douglas)

問題Ⅱ　新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大は、文化人類学が対象としてきた諸社会に大きな影響を与えつつある。こうしたパンデミックがもたらす状況について、文化人類学の立場から具体的なフィールド、トピック、テーマを設定したうえで、どのようなアプローチが可能なのか、議論しなさい。

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

**領　域：　異文化コミュニケーション系**

**コース：　国際関係・比較政治論**

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和3年度（2021年度）

神戸大学大学院国際文化学研究科　博士課程前期課程

入学試験

専門科目　試験問題

異文化コミュニケーション系領域

国際関係・比較政治論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙１枚，下書き用紙１枚
問題の解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

## 問題

政治システムと経済発展には、どのような関係があると考えられるか。政治学の理論や研究に言及しながら、具体的な事例を挙げて論じなさい。

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

## 領　域：　現代文化システム系

## コース：　モダニティ論

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験

## 専門科目　試験問題　現代文化システム系領域モダニティ論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題の解答は，指定された解答用紙に記入すること

**問題**　以下の２つの問いのうち１つを選んで答えなさい。

（１）近代における「自由」と「疎外」について論じなさい。

（２）現代における芸術の公共性について論じなさい。

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

## 領　域：　現代文化システム系

## コース：　先端社会論

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験
## 専門科目　試験問題　現代文化システム系領域先端社会論コース

（注）　問題用紙１枚、解答用紙１枚、下書用紙１枚
問題の解答は指定された解答用紙１枚に収めること

問題　下にあげた語の中から、A 群から１つ、B 群から２つ以上の語を用いて、現代社会の問題点について論じなさい。

A 群
Black Lives Matter（BLM）　イクスティンクション・リベリオン
（売買春の）新廃止主義　緊急避妊薬（アフター・ピル）
イスラモフォビア(Islamophobia)　パンデミック　アンダークラス
ベトナム人

B 群
制度的人種差別　情動　性と生殖の健康と権利
インターセクショナリティ　国民国家　アイデンティティ
パノプティコン　グローバル資本

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

## 領　域：　現代文化システム系

## コース：　芸術文化論

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験
## 専門科目　試験問題　現代文化システム系領域芸術文化論コース

（注）問題用紙３枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　日本の近代工芸における「ナショナリズム」と「伝統」に関する以下の文章を読み、下記の設問（１）、（２）に答えなさい。(解答用紙１枚)

（問題文省略）

＊出典：木田拓也『工芸とナショナリズムの近代――「日本的なもの」の創出』吉川弘文館、2014
（ただし、表記を変えた箇所、省略した箇所がある）

問（１）日本の近代工芸において、「伝統」という言葉はどのような働きをしてきたのか。著者の見解を10行程度でまとめなさい。

問（２）グローバル化した現代社会における芸術文化とナショナリズムとの関係について、具体例を挙げながら、あなた自身の考えるところを15行程度で述べなさい。

問題Ⅱ　次の問題（１）、（２）から、１問を選択して答えなさい。
(解答にあたって、選択した問題番号を明示すること。解答用紙１枚)

（１）芸術文化と地域社会との関わりやそのあり方について、具体例を挙げて論じなさい。

（２）芸術作品や文化現象について研究する際に、その社会的・政治的・歴史的背景も含めて考察するのが重要とされるのはなぜか。その理由を、具体例を挙げて論じなさい。

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

領　域：　言語情報コミュニケーション系

コース：　言語コミュニケーション

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験
# 専門科目　試験問題
# 言語情報コミュニケーション系領域　言語コミュニケーションコース

（注）問題用紙１枚，解答用紙１枚，下書き用紙１枚
問１，２の解答は，それぞれ指定された解答欄に記入すること

問題　次の文章を読んで，下記の問１，２に答えなさい。

（問題文省略）

出典：文化庁国語審議会「国際社会に対応する日本語の在り方」（平成 12 年 12 月 8 日）より一部改変。

問１．日本語における外来語の増加に伴い，コミュニケーションに生じる問題点を３つ指摘し，それぞれについて簡潔に説明しなさい。

問２．あなたの専門分野において，外来語をテーマに研究をするとすれば，どのような研究課題が設定できますか。あなたの専門分野を明示したうえで，具体的な外来語の例をあげつつ，なぜそのような課題設定に至ったのかにも言及しながら，専門用語を用いて説明しなさい。

# 令和３年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

領　域：　言語情報コミュニケーション系

コース：　感性コミュニケーション

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語又は英語 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験
# 専門科目　試験問題　言語情報コミュニケーション系領域
# 感性コミュニケーションコース

（注）問題用紙２枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題の解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題

(問題文省略)

Quoted from Elfenbein, H. A. (2013) “Nonverbal dialects and accents in facial expressions of emotion”, *Emotion Review*, 5, 1, 90-91.

1. 本文を 200～300 字程度に要約しなさい。

2. 下線部について、これがどのような現象を示しているか、本文中の記述に基づいて説明した上で、心理学あるいは言語学のいずれかの立場から顔写真以外の例を具体的に述べなさい。複数の例を挙げてもよい。

# 令和 3 年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

領　域：　言語情報コミュニケーション系

コース：　情報コミュニケーション

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験
## 専門科目　試験問題　言語情報コミュニケーション系領域
## 情報コミュニケーションコース

（注）問題用紙３枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚

以下の大問[A]から[E]のうち２つを選択して解答しなさい。それぞれの解答用紙に１つずつ解答し、解答用紙には、いずれの大問を解答したか分かるように、選択した大問の記号をはっきりと記述すること。

大問[A] 新型コロナウイルスの影響で、受講者が在宅で授業をうける遠隔授業が世界中で増加している。このような授業においては、受講者の通信環境やパソコン環境が十分でないために、円滑に授業を受けられないなどのトラブルも発生している。特に、ビデオ会議システムを用いたリアルタイムでの授業において障害が発生することが多い。ビデオ会議システム利用中に、音声が聞こえない、画面が止まるなどが起きている。遠隔授業について、以下の問１～問４に答えなさい。

問１　サーバに置いてある教材を使って課題を提出するオンデマンド型の授業に比べて、リアルタイム型の授業の方がトラブルが増える理由を説明しなさい。

問２　教員側やビデオ会議システムのサーバ（クラウド）側に問題がある場合は、すべての受講者が同じ状況になるが、一人あるいは、一部の受講者のみがそのような状況になる場合は、受講者側の通信環境やパソコン環境に原因があると考えられる。通信環境（すなわちネットワークの状況）が良く、パソコン環境に原因がある場合、どのような理由が考えられるか。思いつくものを挙げなさい。

問３　ビデオ会議システムでは授業方法により通信量が大きく変わるため、通信量を減らすことでトラブルを減らすことができる。

（１）通信状態が悪いときに、１名の学生がビデオを OFF（顔を映さない）にした。その学生と他の利用者の通信量がどうなるかを、それぞれ説明しなさい。

（２）次の３つのパターンについて通信量が多いと思われる順に並べ、理由を説明しなさい。

a. 教員と質問者の学生のみがビデオを ON（顔を映す）にして会話する。
b. ビデオ会議システムの共有機能を使って、Blu-ray 録画の動画映像を配信する。全員がビデオを OFF にする。
c. ビデオ会議システムの共有機能を使って、パワーポイントなどの静止画を配送する。全員がビデオを OFF にする。

問４　受講者の通信環境やパソコン環境を自分で調べる方法にはどのようなものがあるか。知っている方法を述べなさい。

大問[B]　問題解決方法の類型について以下の文章を読んで、以下の問１～問４に答えなさい。

ある問題を解決する方法は１つとは限らず、解決が困難な問題であるほど様々な異なる着眼点からの解決が試みられることの方が一般的だと言える。ここでは、それら様々な解決方法を分類することを考える。分類を考えることによって、今直面している問題に対してあまり試みられていない着眼点に気付きやすくなるなどの効果が期待できる。

具体例で考えてみよう。高齢者や障害者が社会に参加しづらいという問題に対する解決策を以下のように４つの類型に分類したのが以下の表である。

| 類型 | 事例 |
|---|---|
| 努力・根性 | 本人ががんばって移動して参加する（本質的には解決できていない） |
| 教育・司法 | 障害者差別解消法、合理的配慮 etc. |
| 技術革新 | 医療技術、アシストスーツ etc. |
| デザイン | ユニバーサルデザイン |

ここでいう「デザイン」は既存技術の組み合わせの範囲内で行われるものを表しているのに対して、その時点で完成していない技術を開発することで解決しようとする方法を「技術革新」と呼んでいる。

問１　新型コロナウイルスの感染拡大という問題に対して試みられている様々な解決方法を、説明文中の表と同様に分類した表を示しなさい。

問２　問１で挙げたそれぞれの解決方法について、情報技術がどのように関わっているか（あるいは関わっていないか）簡潔に説明しなさい。

問３　新型コロナウイルスの感染拡大に付随して、人々が仕事や勉強、遊びなどのために集会することが難しくなり、ビデオ会議システム等の情報技術を代替手段として用いることが増えている。そのような情報技術の利用で社会的な問題が生じている具体的な場面を１つ設定し、問１と同様に、試みられている解決方法を表で示しなさい。

問４　問３で示した表を、説明文中の表および問１の表と比較することで、さらに検討を行う余地が大きいと思われる解決策の類型やその内容について論じなさい。

大問[C]　関係データベースと NoSQL について、以下の問１～問３に答えなさい。

問１　関係データベースと NoSQL の構造記述について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

問２　関係データベースと NoSQL のデータ更新について、それぞれの特徴を示しなさい。

問３　関係データベースシステムよりも NoSQL を用いた運用が適するシステムの例を示し、適する理由を説明しなさい。

大問[D]　データサイエンスは、様々なデータを処理・分析することで、社会の動向を推定し、これを意思決定やアプリケーションに利用しようとする一連の研究分野である。このような研究分野に関連して、以下の問１～問５に答えなさい。

問１　データサイエンスが対象とするデータとしてどのようなものが考えられるか。思いつくものを１つ挙げ、その特徴を説明しなさい。

問２　問１で挙げたデータを分析するのに相応しいと思う手法を１つ挙げ、どのような手法か説明しなさい。

問３　問１で挙げたデータを、問２で挙げた手法を用いて分析することで、データに関するどのような情報や知見が得られるのか説明しなさい。

問４　問３で挙げたようなデータに関する情報や知見を利用することで、どのような応用（アプリケーション・ソフトウェアまたはサービス）が可能となると思うか考えを述べなさい。なお、そのような応用例がすでにあっても構わない。

問５　近年、データサイエンスが大きく取り上げられるようになった理由の一つとして、機械学習の発展が挙げられる。機械学習の手法として知っている手法を１つ取り上げ、どのような手法か説明しなさい。なお、問２で挙げた手法以外の手法を取り上げること。

大問[E]　２０２０年度前半から多くの大学でリアルタイム型やオンデマンド型の遠隔授業が始まり、授業用資料の配布や課題の提出などのため、学習支援システムの利用が一気に増加した。学習支援システムについて、以下の問１～問３に答えなさい。

問１　学習支援システムとしてラーニングマネジメントシステム（LMS）がよく利用されている。LMS の主な機能を述べなさい。

問２　LMS のような学習支援システムの開発に当たって、必要な開発環境を挙げ、挙げたそれぞれの項目の役割を説明しなさい。

問３　あなたが興味を持っている教育分野、たとえば、情報教育や外国語教育などを１つ取り上げ、その分野において、教師が学生に学習コンテンツを提示する機能を問２で述べた開発環境で実装する際の主な手順を、図を用いて説明しなさい。学習コンテンツのタイプは１種類に限定してプログラミング言語を取り入れて説明してもよい。

# 令和 3 年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

## 領　域：　外国語教育系

## コース：　外国語教育システム論

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語：<br><br>日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験
## 専門科目　試験問題　外国語教育系領域外国語教育システム論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　外国語教育をオンライン授業で実施することについて、どのようなメリットとデメリットがあるのか日本語または英語で論述しなさい。

問題Ⅱ　次の（1）～（7）の設問の中から２つ選び、日本語または英語で答えなさい。なお、解答にあたっては選択した設問の番号を解答用紙の（　　）の中に明記すること。解答の順序は問わない。

（1）　母語の習得はその言語を使用する機会が十分にあればほぼ例外なく成功する一方で、第二言語学習者の成功にはばらつきがある。このような個人差が起きる要因としてどのようなものがあるか。第二言語習得理論に基づいて説明しなさい。

（2）　機械翻訳技術の進展はめざましく、実用化も進んでいる。こうした機械翻訳技術の進展が外国語教育における教授・学習にもたらす影響について、論述しなさい。

（3）　外国語の発音をカタカナで表記することのメリットとデメリットについて論述しなさい。

（4）　韻文（verse）と散文（prose）の違いについて述べなさい。

（5）　第二言語の学習の困難性は、言語によって異なる。ある言語が他の言語よりも学習が容易または困難であるかを予測する言語要因にはどのようなものがあるか説明しなさい。

（6）　中間言語とピジン言語の違いを具体例を踏まえて説明しなさい。

（7）　文学研究には様々な研究手法や作品へのアプローチ方法があるが、あなた自身の今後の研究方法にもっとも近いと考えられるものと、もっとも遠いと考えられるものを挙げ、それぞれの長所と短所について説明しなさい。

# 令和 3 年度（2021 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
# 博士課程前期課程入学試験

## 専門科目　試験問題

## 領　域：　外国語教育系

## コース：　外国語教育コンテンツ論

| |
|---|
| ※本コース専門科目の解答に使用できる言語： |
| 日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。 |

### 受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

# 令和3年度（2021年度）神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程
# 入学試験
# 専門科目　試験問題　外国語教育系領域　外国語教育コンテンツ論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ
外国語教育におけるICT（Information and Communication Technology、コンピュータ・スマートフォン・タブレットなどの情報通信機器）の活用が進んでいます。ICTを活用した教授法を取り入れる上で、その長所と留意すべき点を、第二言語習得理論や関連研究等を紹介しながら、あなたの意見を述べなさい。なお、論述にあたっては、解答用紙にある立論構成に従うこと。【日本語または英語で解答すること】

問題Ⅱ
中級レベルの外国語学習者を対象に、「学習者同士のフィードバックを活用したライティングの指導」をテーマ として、 60 分の授業 （全 15 回中の 1回分） を行う場合の授業計画案を作成しなさい。 はじめに、当該授業計画案の目的・対象者・前提となっている教授理論や言語習得理論を明記した後、解答用紙の記載枠に従い、授業計画案を記入しなさい【日本語で解答すること】